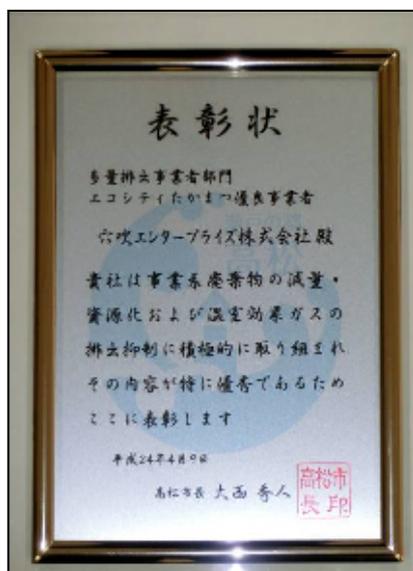




エコアクション21
認証・登録番号 0004815

エコアクション21 環境活動レポート

期間：2011年4月～2012年3月



『エコシティ高松』（高松市）
日頃のエコ活動が認められ、
優良事業者として
表彰されました！

目 次

1.	環境方針	1
2.	事業内容	2
3.	エコアクション21推進体制組織図	6
4.	今年度の環境目標と活動計画・実績	7
5.	各施設活動報告	11
5-1	サンメッセ香川	12
5-2	アルファあなぶきホール	14
5-3	高松テルサ	16
5-4	クアパーク津田・クアタラソさぬき津田	18
5-5	津田の松原サービスエリア	21
5-6	高松国際ホテル	23
5-7	チサン イン高松	25
5-8	ロイヤルパークホテル高松	27
5-9	琴平パークホテル	29
6.	今後のエコ活動計画	31
7.	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	32
8.	代表者による全体評価と見直しについて	33



【 環 境 方 針 】

穴吹エンタープライズ株式会社は、地域社会に生かされ生きる企業を目指し、全ての事業活動において環境負荷の削減に努め、持続可能な循環型社会の実現に向けて、社会的責任を果たします。

1. お客様に満足していただける、安全で快適な環境を提供します。
お客様にご利用いただく施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供を推進します。
2. 廃棄物の適正処理と削減に取り組めます。
 - (1) 3R を推進し、廃棄物の削減をします。
※3R (Reduce:発生抑制・Reuse:再使用・Recycle:再資源化)
 - (2) 食品リサイクル率の向上・生ごみ廃棄物の発生抑制を推進します。
3. 環境コミュニケーションに取り組めます。
エコ活動レポートを社内外に公表し、社会からの信頼向上に努めます。
4. 法令を遵守します。
環境に関する法規制等を遵守し、環境保全に努めます。
5. 環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
全スタッフへ環境に関しての教育を行い、継続的改善に努めます。

制定日 2011年3月1日

改定日 2012年5月1日

穴吹エンタープライズ株式会社
代表取締役 小島 英夫

2. 事業内容

□ 事業所名及び代表者名

穴吹エンタープライズ株式会社

代表取締役 小島 英夫

□ 所在地

本社: 香川県高松市福田町11番地1

□ 環境管理責任者及び環境管理事務局連絡先

・環境管理責任者: 三村 和馬 (指定管理者事業部 事業部長)

電話: 087-825-0556

・事務局連絡先: 稲谷 敏 (施設・購買部 部長)

電話 087-831-1529

□ 全社組織について

当社、穴吹エンタープライズ株式会社は、以下の6つの事業部から構成されております。

NO.	事業部名	施設名	業務内容
1	指定管理者事業部	サンメッセ香川、アルファあなぶきホール、高松テルサ	指定管理者として、公共施設を運営する。
2	津田事業部	クアパーク津田、クアタラソさぬき津田、津田の松原サービスエリア、アルファ津田カントリークラブ	スポーツ・健康増進施設・サービスエリア・ゴルフ場を運営する。
3	ホテル事業部	高松国際ホテル、チサン イン高松、ロイヤルパークホテル高松、琴平パークホテル	宿泊施設・料飲施設を運営する。
4	管理本部	管理部、施設・購買部	人事や会社の資産等を管理し、各課の運営サポートをする。
5	倉敷事業部	旅館くらしき、倉敷珈琲館	宿泊施設・料飲施設の運営をする。
6	関連事業部	ストアマネジメント課、新規事業開業準備室、フーズケア課	「まめ吉本舗」や「あなぶき家」などの運営や、高齢者用の食事を提供する。

□ 今後のエコアクション21導入計画について

今年度は、2009年度の指定管理者事業部・2010年の津田事業部に続き、ホテル事業部でのエコアクション21への導入を開始致しました。3事業部での活動実績をベースに以下のスケジュールで全社への展開を計画しております。

2013年には、会社全体での取得が完了できる予定です。

事業部名	2010年	2011年度	2012年	2013年
指定管理者事業部	認証取得			
津田事業部		認証取得		
ホテル事業部			認証取得予定	
管理本部				認証取得予定
倉敷事業部				認証取得予定
関連事業部				認証取得予定

□事業の規模(全社)

総従業員数 399人(2011年6月末現在)
全社売上高 4,316百万円(2010年7月～2011年6月)

□事業の規模(EA21運用対象範囲)

全従業員数 308人(2011年6月末現在)
売上高 3,675百万円(2010年7月～2011年6月)
以下の9施設をEA21対象施設として運営中。

□各施設紹介

～指定管理者事業部～

●サンメッセ香川

所在地: 香川県高松市林町2217-1
施設規模:延床面積 37,426㎡
1994年開業
(2005年4月より、香川県の指定管理者として当社が業務開始)

香川インテリジェントパーク内にある県内最大の総合コンベンション施設です。大小2つの展示場と、様々な会議室をご用意しております。大規模なイベント、見本市、展示会から少人数の会議、勉強会まで幅広くご利用いただいております。

サンメッセ香川外観



●アルファあなぶきホール(香川県県民ホール)

所在地: 香川県高松市玉藻町 9-10
施設規模:延床面積 27,820 ㎡
1988 年開業
(2006 年 4 月より、香川県の指定管理者として当社が業務開始。)

音楽、舞踊、演劇、講演会などあらゆる舞台芸術やイベントに対応できる大小2つのホールと各種練習室、会議室を備えた香川県の舞台芸術の拠点施設。
国内外の優れた舞台芸術の公演をはじめ県民の創作活動の発表、練習や全国規模の学会・大会、各種会議などに幅広くご利用いただいております。

アルファあなぶきホール外観



●高松テルサ

所在地:香川県高松市屋島西町 2366-1
施設規模: 延床面積 11,467 ㎡
1993 年開業
(2009 年 4 月より、香川県高松市の指定管理者として当社が業務開始)

会議室、研修室、ホール等を有する多目的施設です。
貸し館に加え、宿泊施設やトレーニングジムも併設しております。
健康増進・文化教養のための自主企画事業を数多く実施。
地域と一体化したテルサ音楽祭、勤労者美術展といったイベントなどにも広くご利用いただいております。

高松テルサ外観



～津田事業部～

●クアパーク津田・クアタラソさぬき津田

・クアパーク津田(国民宿舎松琴閣)

所在地：香川県さぬき市津田町松原地内

施設規模：延床面積 2,422 m²

1962年開業

(1996年11月より株式会社さぬき市SA公社より委託され弊社が業務開始。)

「津田の松原」の東端に位置し、瀬戸内海を望む砂浜に面した宿泊施設、会議室、研修室、ホール、入浴施設、レストラン等を有する多目的施設です。

地域と一体となった運営をし、広くご利用いただいております。

・クアタラソさぬき津田

所在地：香川県さぬき市鶴羽24-2

施設規模：延床面積 1,885 m²

1993年開業

(1996年11月より株式会社さぬき市SA公社より委託され弊社が業務開始。)

温水プール、入浴施設、トレーニングジムを主体とした健康増進を目的とした地域密着型施設です。

隣接のクアパーク津田と、連絡通路で結ばれており、一体的な利用が可能です。

クアパーク津田外観



クアタラソさぬき津田外観



●津田の松原サービスエリア

所在地：香川県さぬき市鶴羽 935-5 及び 939-1

施設規模：延床面積 2,248 m²

2001年開業

(2009年4月より、株式会社さぬき市SA公社より委託され弊社が業務開始)

日本の渚百選瀬戸内海「津田の松原」を眼下に望む『津田の松原SA』内で飲食物の提供と土産物の販売をしています。

レストランでのお食事の他、本場讃岐うどん「あなぶき家」、お土産・売店では地域特産品を多数ご用意し、香川県外・県内のお客様のおもてなしをさせていただいております。

津田の松原SA外観



～ホテル事業部～

●高松国際ホテル

所在地：香川県高松市木太町 2191-1

施設規模：延床面積 3,340 坪

創業：昭和 39 年 10 月

開業：平成 13 年 5 月

東京オリンピックが開かれた1964年(昭和39年)に創業した「高松国際ホテル」。以来、皇室をはじめとする多くの賓客をおもてなししてきた伝統と実績。優しく、あたたかなサービスでお客様をお出迎えいたします。

高松国際ホテル外観



●チサン イン高松

所在地:香川県高松市福田町11-1

施設規模:延床面積 889坪

開業:昭和63年9月

(平成12年10月ホテル名を「ロイヤルパークホテル高松アネックス」に変更平成22年3月「チサン イン高松」としてリニューアルオープン。)

ロープライスと快適性をハイレベルに融合したホテル。高松の繁華街に位置する「チサン イン高松」は充実のアメニティとファンリテイ、全室に無料のインターネット回線を完備し、お客様の大切なくつろぎのひと時をご提供いたします。

チサン イン高松 外観



●ロイヤルパークホテル高松

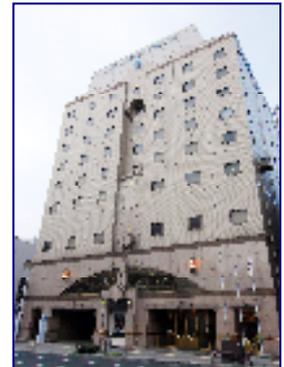
所在地:香川県高松市瓦町1-13-1

施設規模:延床面積 1,396 坪

開業:平成元年2月

繁華街の中心・瓦町に位置するアールデコ調の気品漂う「ロイヤルパークホテル高松」安らぎの睡眠を提供する客室、落ち着いた和の空間で日本料理を提供する座敷割烹『錦』。さまざまなニーズにお応えする宴会場や会議室もご利用いただけます。

ロイヤルパークホテル高松外観



●琴平パークホテル

所在地:香川県仲多度郡琴平町榎井706-7

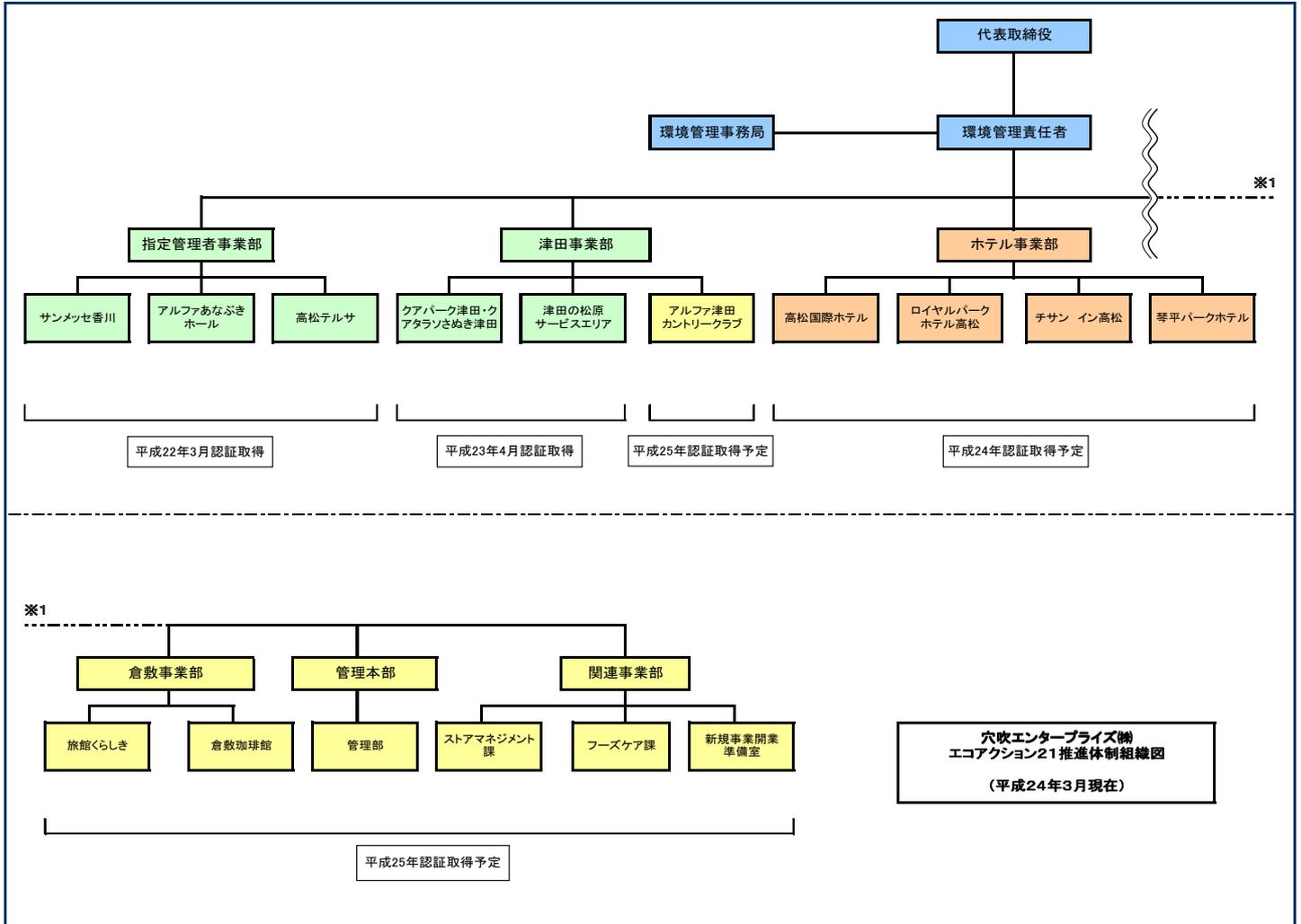
施設規模:延床面積 1,629 坪

こんぴらさんの門前町の中で、数少ないビジネスタイプの「琴平パークホテル」。金比羅宮の参拝など観光目的のお客様、出張でお越しになるビジネスマンにとって、お財布にやさしいホテルです。一日の疲れを癒す展望浴場など、様々な寛ぎのおもてなしもご用意しております。

琴平パークホテル 外観



3. エコアクション21推進体制組織図



4. 今年度の環境目標と活動計画・実績

【各施設共通目標について】

- ☆スタッフの環境知識・意識の向上を目的としたエコ検定合格(受検)
- ☆環境配慮意識をスタッフやお客様にご理解いただくための啓発活動

弊社でのEA21への取り組みも3年目となりました。
最初に導入を開始した『指定管理者事業部』を中心に、EA21の活動にもまとまりがでてきました。
経営計画や方針管理の中で、全事業所でのEA21の導入を目指すことを掲げ、継続的なエコ活動に取り組むことで、社内での環境への意識も高くなりつつあります。

全施設で取り組んでいる『環境社会検定(エコ検定)』受験も、スタッフへの意識向上を目的とした活動の1つです。現在エコ検定合格者は45名で全社員数の1割強です。全スタッフの合格を目指し、今後も継続して取り組みを進めます。

また、環境教育を施し、取り組みへのボトムアップを図ることはもちろん、お客様に満足していただける安全で快適な環境を提供できるよう、施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供に努めます。それと共に、お客様のご理解・ご協力を得られるよう努め、エコ活動の輪を広げてまいります。

【今年度の各施設の活動概要について】

今年度は、ホテル事業部が10月よりEA21の運用をはじめました。
ホテル事業部は、既にEA21の認証取得をしている『指定管理者事業部』・『津田事業部』と業務形態が異なる為、EA21の導入について、社員への周知や教育・取り組みがスムーズに行かないこともありましたが、各課でのミーティングや啓発活動を重ねることで、具体的な活動へと結びつき取り組みを進められるようになってまいりました。

特に来年度は、新しい環境方針にも明記しているように、食品リサイクルに力を入れて取り組んでいきたいと考えております。

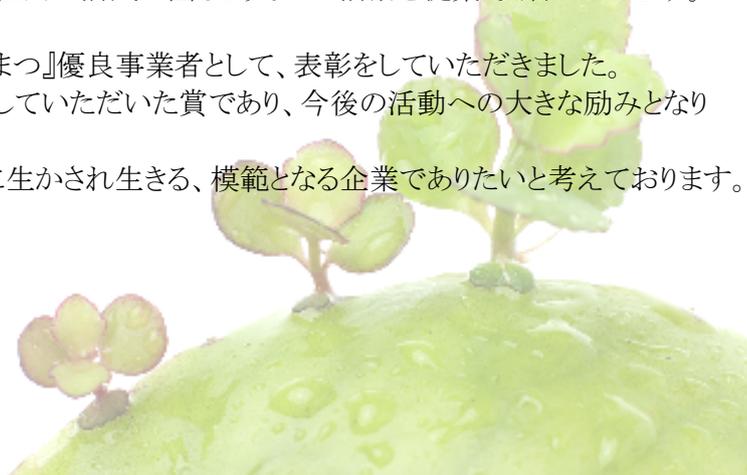
また、EA21への取組が2年目・3年目となる『津田事業部』と『指定管理者事業部』においては、『中間審査』において継続的に活動ができているのが確認されており、各施設でお客様や関係業者様にご協力をいただきながら、それぞれの施設に合った活動を、地道に続けています。

反省点として、これまでの活動以外に加えて、更なる一步進んだ取り組みが少なかったことが挙げられます。来年度は、各施設がそれぞれの個性を生かし、社内に活気が出るようなエコ活動を提案・実行いたします。

平成24年4月に高松市より、『エコシティたかまつ』優良事業者として、表彰をしていただきました。
これまでの弊社のエコ活動への取り組みを評価していただいた賞であり、今後の活動への大きな励みとなりました。

これからも、地道に活動を継続し、地域社会に生かされ生きる、模範となる企業でありたいと考えております。

※エコアクションを文中ではEA21と表記します。



【今年度までの活動実績と評価】

今年度から、弊社の大部分の施設が活動に参加する事になり、会社全体の活動実績がご報告できるようになって来ました。しかしながら、データ収集が不足していた部分も有り、今回は下表の通り、一部項目において、削減量をご報告出来ない結果となりました。また、現状の目標管理は事業所毎の設定で運用されており、次年度の取組においては、全社目標値を基準とした管理体制へ移行したいと考えております。

● 指定管理者事業部 ●

		事業部名：指定管理者事業部								
環境目標項目	期間	2009年9月～12月 (4ヶ月間)		2010年1月～12月 (1年間)		2011年1月～3月 (3ヶ月間)		2011年4月～2012年3月 (1年間)		
①省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	目標値 (売上高千円当り)	—	kg-CO ₂	昨年度比 2%減	kg-CO ₂	昨年度比 1.6%減	kg-CO ₂	昨年度比 1.6%減	kg-CO ₂	
	CO ₂ 排出量/ 売上高千円当り	3.6	kg-CO ₂ / 売上高千円	3.8	kg-CO ₂ / 売上高千円	3.8	kg-CO ₂ / 売上高千円	3.7	kg-CO ₂ / 売上高千円	
	昨年度比	—	%	105.6	%	100.0	%	97.4	%	
	CO ₂ 排出量	887,253	kg-CO ₂	2,832,000.0	kg-CO ₂	666,277.4	kg-CO ₂	2,838,378.4	kg-CO ₂	
	使用実績内訳	電気	1,868,903.0	kwh	5,855,533.0	kwh	1,309,555.0	kwh	5,556,127.0	kwh
		都市ガス	59,684.0	m ³	212,296.0	m ³	63,082.0	m ³	272,973.0	m ³
		LPG		kg		kg		kg		kg
		重油	284.0	ℓ	438.0	ℓ	105.0	ℓ	550.0	ℓ
		ガソリン		ℓ		ℓ		ℓ		ℓ
		軽油		ℓ		ℓ		ℓ		ℓ
廃棄物排出量削減	目標値 (リサイクル率)	—	t	昨年度比 2%減	t	昨年度比 1.6%減	t	昨年度比 1.6%減	t	
	昨年度比	—	%	—	%	—	%	—	%	
	一般廃棄物排出量 (t)	8.4	t	20.1	t	6.7	t	43.0	t	
	リサイクル量 (t)	19.7	t	67.5	t	12.9	t	12.2	t	
	リサイクル率 (%)	70.1	%	77.1	%	65.8	%	22.1	%	
	食品廃棄物排出量 (t)	—	t	—	t	—	t	4.6	t	
	食品リサイクル量 (t)	—	t	—	t	—	t	4.4	t	
食品リサイクル率 (%)	—	%	—	%	—	%	95.6	%		
排水量削減	目標値 (売上高千円当り)	—	m ³	昨年度比 2%減	m ³	昨年度比 1.6%減	m ³	昨年度比 1.6%減	m ³	
	排水量/ 売上高千円当り	0.033	排水量m ³ / 売上高千円	0.037	排水量m ³ / 売上高千円	0.035	排水量m ³ / 売上高千円	0.035	排水量m ³ / 売上高千円	
	昨年度比	—	%	112.1	%	94.6	%	100.0	%	
	排水量(m ³)	8,031.0	m ³	27,439.5	m ³	6,229.5	m ³	27,076.0	m ³	
コピー用紙削減	目標値 (売上高千円当り)	—	g	昨年度比 2%減	g	昨年度比 1.6%減	g	昨年度比 1.6%減	g	
	コピー用紙使用量/ 売上高千円当り	2.9	g/ 売上高千円	2.9	g/ 売上高千円	4.5	g/ 売上高千円	3.4	g/ 売上高千円	
	昨年度比	—	%	100.0	%	155.1	%	75.6	%	
	使用量(t)	0.73	t	2.16	t	0.80	t	2.60	t	
スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。									
エコ検定合格による環境意識の向上	受験者数	14	名	34	名	—	名	15	名	
	合格者数	9	名	17	名	—	名	12	名	
	合格率	64.3	%	50.0	%	—	%	80.0	%	
グリーン購入の推進	①電球のLED化実施：アルファあなぶきホール									

※CO₂排出係数について、全施設での係数を0.407kg-CO₂/kwとします。

※廃棄物データについては、今期よりデータの集計方法を変更した為、過去分のデータについては参考数値として捉えてください。

● 津田事業部 ●

● ホテル事業部 ●

		事業部名：津田事業部					
環境目標項目	期間	2010年10月～12月 (3ヶ月間)		2011年1月～3月 (3ヶ月間)		2011年4月～2012年3月 (1年間)	
		目標値 (売上高千円当り)	単位	昨年度比 2.0%減	単位	昨年度比 1.6%減	単位
①省エネルギー化推進による CO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量/ 売上高千円当り	1.3	kg-CO ₂ / 売上高千円	1.6	kg-CO ₂ / 売上高千円	1.8	kg-CO ₂ / 売上高千円
	昨年度比	—	%	123.1	%	112.5	%
	CO ₂ 排出量	431,596.1	kg-CO ₂	529,231.8	kg-CO ₂	1,729,656.8	kg-CO ₂
	電気	578,494.2	kwh	59,651.5	kwh	2,535,154.0	kwh
	都市ガス	—	m ³	—	m ³	—	m ³
	LPG	23,208.0	kg	35,396.6	kg	114,688.0	kg
	重油	46,300.0	ℓ	66,500.0	ℓ	123,890.0	ℓ
	ガソリン	—	ℓ	—	ℓ	4,984.0	ℓ
	軽油	390.0	ℓ	630.3	ℓ	2,398.0	ℓ
	使用実績内訳						
廃棄物排出量削減	目標値 (リサイクル率)	—	t	2.0%減	t	1.6%減	t
	昨年度比	—	%	—	%	—	%
	一般廃棄物排出量 (t)	12.3	t	2.4	t	36.1	t
	リサイクル量 (t)	4.1	t	9.3	t	41.9	t
	リサイクル率 (%)	25.0	%	79.5	%	53.7	%
	食品廃棄物排出量 (t)	—	t	—	t	42.9	t
	食品リサイクル量 (t)	—	t	—	t	20.4	t
食品リサイクル率 (%)	—	%	—	%	47.6	%	
排水量削減	目標値 (売上高千円当り)	—	m ³	2.0%減	m ³	1.6%減	m ³
	排水量/ 売上高千円当り	0.034	排水量m ³ / 売上高千円	0.032	排水量m ³ / 売上高千円	0.038	排水量m ³ / 売上高千円
	昨年度比	—	%	94.1	%	118.8	%
	排水量 (m ³)	1,176.1	m ³	10,792.1	m ³	58,680.0	m ³
コピー用紙削減	目標値 (売上高千円当り)	—	g	2.0%減	g	1.6%減	g
	コピー用紙使用量/ 売上高千円当り	0.231	g/ 売上高千円	0.399	g/ 売上高千円	0.309	g/ 売上高千円
	昨年度比	—	%	172.7	%	77.4	%
	使用量 (t)	2.16	t	0.80	t	2.60	t
スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。						
エコ検定合格による環境意識の向上	受験者数	6	名	—	名	3	名
	合格者数	2	名	—	名	2	名
	合格率	33.3	%	—	%	66.7	%
グリーン購入の推進	①電球のLED化実施 ②高効率ボイラーへの更新：クアタラソさめぎ津田						

		事業部名：ホテル事業部	
環境目標項目	期間	2011年4月～2012年3月 (1年間)	
		目標値 (売上高千円当り)	単位
①省エネルギー化推進による CO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量/ 売上高千円当り	1.6	kg-CO ₂ / 売上高千円
	昨年度比	—	%
	CO ₂ 排出量	2,344,479.1	kg-CO ₂
	電気	4,148,813.0	kwh
	都市ガス	288,606.0	m ³
	LPG	—	kg
	重油	11,740.0	ℓ
	ガソリン	2,526.0	ℓ
	軽油	3,708.0	ℓ
	使用実績内訳		
廃棄物排出量削減	目標値 (リサイクル率)	—	t
	昨年度比	—	%
	一般廃棄物排出量 (t)	30.3	t
	リサイクル量 (t)	4.8	t
	リサイクル率 (%)	13.7	%
	食品廃棄物排出量 (t)	32.7	t
	食品リサイクル量 (t)	15.4	t
食品リサイクル率 (%)	47.1	%	
排水量削減	目標値 (売上高千円当り)	—	m ³
	排水量/ 売上高千円当り	0.041	排水量m ³ / 売上高千円
	昨年度比	—	%
	排水量 (m ³)	67,298.0	m ³
コピー用紙削減	目標値 (売上高千円当り)	—	g
	コピー用紙使用量/ 売上高千円当り	1.2	g/ 売上高千円
	昨年度比	—	%
	使用量 (t)	1.49	t
スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。		
エコ検定合格による環境意識の向上	受験者数	4	名
	合格者数	3	名
	合格率	75.0	%
グリーン購入の推進	①電球のLED化実施 ②高効率ボイラーへの更新：チサン イン高松		

※CO₂排出係数について、全施設での係数を0.407kg-CO₂/kwとします。

※廃棄物データについては、今期よりデータの集計方法を変更した為、過去分のデータについては参考数値として捉えてください。



【今年度の活動評価】

《 1. 省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について 》

各施設とも地道な節電により、良好な結果となっています。特に今回は、アルファあなぶきホール(▲23.2万kw)や、高松国際ホテル(▲22.4万kw)が積極的に節電対策を実施し、大きなCO₂削減に貢献をいたしました。LPGガスの増加については、重油→ガスへの燃料転換の結果であり、問題は無いと考えております。

《 2. 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》

ホテル事業部がエコアクション21の導入前ということもあり、前年度データが収集出来ておりません。昨年度との適正な比較・評価が出来ませんが、分別・リサイクルの推進による排出量抑制、ご協力会社様に納品の梱包簡素化を依頼し、協力会社様と共に活動を進めています。



事務室内でもゴミの分別を行ない、日頃から全スタッフが率先してエコ活動に対する意識を高めています。

全施設で【エコキャップ運動】への取り組みが定着し、エコキャップ推進協会様への寄付や、グループ会社の収集運動に参加しております。一部施設においては【プラタブ回収運動】にも取り組んでいます。

食品リサイクルにおいても、食材の在庫管理・有効利用の徹底、廃食用油のリサイクル等廃棄物の削減に努め、一部施設では、【コンポスト設置】によって、レストランの生ごみ類の排出量を削減しております。



コンポストは現在2基設置。匂いもほとんどありません。

《 3. 節水による総排水量削減について 》

残念ながら、総排水量については昨年度実績値を7,530m³上回ってしまいました。新たにクアタラソの井水の計量開始に伴う総排水量の増加分が22,941m³計上された為、全体としては十分な節水対策ができていると考えられます。

各施設ともに、各蛇口に節水シールを掲示する等、節水意識の向上を促しています。



蛇口の横に節水シールを貼り、啓発をしています。

《4. コピー用紙使用量の削減について 》

全施設における、前年度のデータ収集が出来ておらず、評価が出来ておりませんが各施設共に社内メールの活用及びミスプリント削減を推進することにより、コピー用紙使用量の削減に努めています。

《5. 教育・啓発活動・エコ検定について 》

各施設共に、施設内随所に、環境関連の掲示等をしております。エコ検定の合格者数が45名に達し、確実に社内での*エコピープルの人数が増えております。更なる合格者増を目指して、活動を継続致します。

※エコピープルとは・・・

環境社会検定(エコ検定)合格者の名称のこと。



ミスコピーを防止する呼びかけをしています。

《6. グリーン購入について》

グリーン購入に関しては、LED電球の使用促進、空調機器等の更新時の高効率機器の導入等、出来るものから、実施をしております。しかしながら、コスト面での問題も有り、現状の取組みとしては可能なものから購入を進めております。

各施設活動報告



●指定管理者事業部

- ①サンメッセ香川
- ②アルファあなぶきホール
- ③高松テルサ

●津田事業部

- ①クアパーク津田 & クアタラソさぬき津田
- ②津田の松原サービスエリア

●ホテル事業部

- ①高松国際ホテル
- ②チサン イン高松
- ③ロイヤルパークホテル高松
- ④琴平パークホテル

各施設での1年間(平成23年4月～平成24年4月)の活動を
レポートにまとめました。

(ホテル事業部は平成23年10月～平成24年3月の取組み内容)
施設ごとに、個性のある取組みをしています。ぜひご覧ください。

5-1サンメッセ香川

【運用期間 2011年4月～2012年3月】

環境目標項目	2011年4月～2012年3月 実績値評価(原単位:稼働率)			昨年度との使用量比較			
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③排出量 (②-①)	④2010年度 (4月～3月)	⑤2011年度 (4月～3月)	⑥使用量 (⑤-④)	
1.省エネルギー化推進 によるCO2排出量削減	14,396.0 (kg-CO ₂)	15,276.2 (kg-CO ₂)	880.2 (kg-CO ₂)	電気使用量 (kwh)	1,142,774 (kwh)	1,135,474 (kwh)	▲7,300 (kwh)
				ガス(m ³)	108,004 (m ³)	106,201 (m ³)	▲1,803 (m ³)
				重油(ℓ)	60(ℓ)	60(ℓ)	0(ℓ)
2.分別・リサイクル推進 による廃棄物排出量削減	1,007.5 (kg)	822.5 (kg)	▲185.0 (kg)	一般廃棄物 排出量(t)	31.68(t)	36.45(t)	4.77(t)
				リサイクル量 (t)	15.04(t)	7.37(t)	▲7.67(t)
3.節水による総排水量 削減	119.0 (m ³)	98.6 (m ³)	▲20.4 (m ³)	排水量(m ³)	3,345(m ³)	4,326(m ³)	981(m ³)
4.コピー用紙使用量の 削減	4,348.0 枚	5,040.2 枚	692.2 枚	A4用紙 使用量(kg)	567(kg)	874(kg)	307(kg)
5.上記項目の 全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を年3回以上、お客様への啓発を目標として継続中。 スタッフへの教育については実施済み。 お客様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動を呼びかけております。						
6.エコ検定合格(受検)に よる環境意識の向上 (2011年4月～2012年3月)	受験日	2011年4月～2012年3月 目標合格者数	2011年4月～2012年3月 受験者数	2011年4月～2012年3月 合格者数			
	2011.07	1名	0名	0名			
	2011.12	1名	2名	1名			
	合計	6名	13名	6名			

※基準値:2006-8年度実績値平均を基に設定。
※記載数値は稼働率で除して算出しております。

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407 kg-CO₂/KW(四国電力)

【エコ活動実績と評価】

《 1.省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について 》

施設内の電灯不要箇所の間引きを実施しましたが、2011年夏季の多岐に亘る猛暑及び冬季における空調使用に伴い、排出量が増える結果となりました。

(7月～9月 増 181 kg-CO₂ 対目標値)

(1月～2月 増 350 kg-CO₂ 対目標値)

《 2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》

廃棄物排出抑制及びリサイクル目的に、納品・ご協力会社様様に回収可能物の回収ご協力をいただいております。



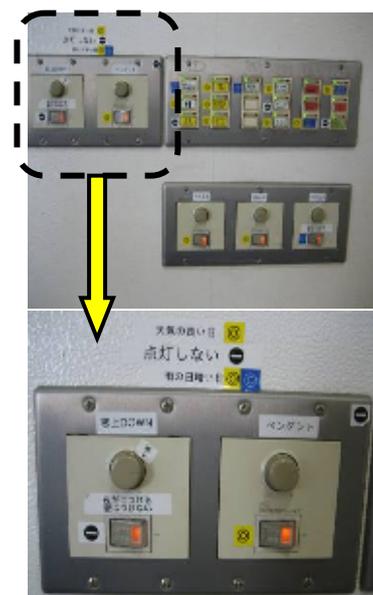
事務室内でもゴミの分別を行ない、日頃から全スタッフが率先してエコ活動に対する意識を高めています。

【エコキャップ運動】への取り組みが定着し、定期的にエコキャップ推進協会様に寄付を行っております。(2010年7月から開始)

今期寄付:5,712個 【累計:12,568個】

CO₂削減量:27.1kg 【累計:99.0kg】

【プルタブ回収運動】への取り組みとして、プルタブの回収を始めました。運用開始から間もないためまだ実績はありませんが、環公害防止連絡協議会への寄付を検討しています。(2012年3月から開始)



照明の操作を時間帯・天気に応じて細分化することで、省エネ対策を誰でも簡単にできるようにしています。

5-1サンメッセ香川

前頁続き

【コンポスト設置】によって、レストランの生ごみ類の排出量を削減し、有効利用しています。(2011年8月から開始)
※排出量250.4kgを削減



コンポストは現在2基設置しています。

【古紙回収活動】を始めました。定期的に近隣のスーパーへの古紙の持ち込みを行なっています。古紙ポイントカードへ登録することで、持ち込んだ古紙の量に応じてポイントが貯まり、商品カードとして用いることができます。

《 3. 節水による総排水量削減について 》

空調において、クーリングタワー使用箇所の巡回強化し、無駄な溢水防止を定期的に管理しました。
また社内掲示等により、節水に努めました。



古紙ポイントカードを登録することで、積極的なエコ活動を進んで実践しています。

《 4. コピー用紙使用量の削減について 》

社内メール活用及びミスプリント削減を推進することにより、コピー用紙使用量の削減に努めました。お客様へ会場設備図面を電子メールで提供することにより、利便性と業務効率の向上、省資源化に努めました。

【 次年度の取組内容について 】

- ・ 社内においては水道光熱費削減を図るために社内掲示物及び朝礼等を活用し、社員の意識向上を図ってまいります。
- ・ 作業・仕事の効率化を図ることで、社員一人一人の行動を、環境への負荷の少ないものへと向上させてまいります。
- ・ 廃棄物を分別することにより、リサイクル(再利用・再生利用可能物質)量を増やすことで廃棄物(ごみ)を減らし、環境への負荷低減に努めてまいります。



5-2 アルファあなぶきホール

[運用期間 2011年4月～2012年3月]

環境目標項目	2011年4月～2012年3月 実績値評価(原単位:稼働率)			昨年度との使用量比較			
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③排出量 (②-①)	④2010年度 (4月～3月)	⑤2011年度 (4月～3月)	⑥使用量 (⑤-④)	
1.省エネルギー化推進 によるCO2排出量削減	21,710 (kg-CO ₂)	20,816 (kg-CO ₂)	clear ▲894 (kg-CO ₂)	電気使用量 (kwh)	3,171,580 (kwh)	2,933,396 (kwh)	▲238,134 (kwh)
				ガス(m ³)	91,967 (m ³)	71,090 (m ³)	▲20,877 (m ³)
2.分別・リサイクル推進 による廃棄物排出量削減	1.6 (kg)	0.7 (kg)	clear ▲0.9 (kg)	一般廃棄物 排出量(t)	—	6.08 (t)	—
				リサイクル量 (t)	—	4.801 (t)	—
3.節水による総排水量 削減	213.0 (m ³)	217.0 (m ³)	4.0 (m ³)	排水量(m ³)	13,759 (m ³)	14,009 (m ³)	250 (m ³)
4.コピー用紙使用量の 削減	2,763 (枚)	4,334 (枚)	1,571 (枚)	A4用紙 使用量(kg)	996 (kg)	1,133 (kg)	137 (kg)
5.上記項目の 全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を年3回以上、お客様への啓発を目標として継続中。 スタッフへの教育については実施済み。 お客様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動呼びかけております。						
6.エコ検定合格(受検) による環境意識の向上 (2011年4月-2012年3月)	受験日	2011年4月-2012年3月 目標合格者数	2011年4月-2012年3月 受験者数	2011年4月-2012年3月 合格者数			
	2011.07	6名	6名	5名			
	2011.12	3名	2名	1名			
	合計	9名	8名	6名			

※基準値:2006-8年度実績値平均を基に設定。 ※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407kg-CO₂/kw(四国電力)
 ※1,3,4は施設の稼働状況による変動が大きい為、稼働率で除して算出しております。
 ※2は施設利用人数による変動が大きい為、総入場者数で除して算出しております。

【エコ活動実績及びその評価】

県主催の催物を行う場合、県が定めるエコイベントマニュアルに沿って活動を行いました。

《 1.省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について 》

- ・階段利用の啓発ポスターを設置し、エレベーターの使用を少なくするよう啓発しました。
- ・館内全てのパソコンを10分間使用しない場合に、省電力モードになるように設定しました。
- ・エレベーターの無駄な運転を防ぐため、施設利用が少ない日は2基並んでいるエレベーターの内1基の運転を停止しました。
- ・ファンコイルの設定温度を各部屋に合わせ微調整を行ないました。
- ・大ホール棟では、氷蓄熱設備を最大電力量の集中する時間帯に最大限利用しデマンド抑制、ピークカットを行ない実施期間の前年比で144,672kwhを削減いたしました。

《 2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》

- ・古紙の分別を徹底し古紙・段ボールなどをすべてリサイクル業者へ渡しゴミの量を3.3t削減しました。
- ・事務所内のゴミ箱を2種類に分け可燃ゴミと不燃ゴミを分別、また缶や瓶などのゴミ箱を別に設け分別回収を行い意識向上に努めました。
- ・社内回覧を行う際、データでの回覧を積極的に行い紙ベースでの回覧を行わないようにしています。

5-2 アルファあなぶきホール

前頁続き

《 3. 節水による総排水量削減について 》

- ・ギャラリーカフェシレーヌに節水コマを試験的に設置しました。



リサイクルごみの分別を行いました。

アルファあなぶきホール
EA21取組み写真



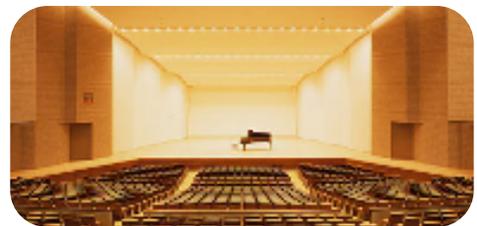
階段利用の啓発を行いました。

【 次年度の取組内容について 】

- ・ギャラリーカフェシレーヌで節水コマを取り付けて水使用量の削減を行う。
- ・節水・節電表示によるエコ意識の向上・活動推進を図ります。



アルファあなぶきホール外観



大ホール写真



小ホール写真

5-3 高松テルサ

【運用期間 2011年4月～2012年3月】

環境目標項目	2011年4月～2012年3月 実績値評価 (原単位:お客様1人あたり)			昨年度との使用量比較			
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③排出量 (②-①)	④2010年度 (4月～3月)	⑤2011年度 (4月～3月)	⑥使用量 (⑤-④)	
1.省エネルギー化推進 によるCO2排出量削減	2.46 (kg-CO ₂)	2.17 (kg-CO ₂)	clear! ▲0.29 (kg-CO ₂)	電気使用量 (kwh)	1,551,819 (kwh)	1,487,257 (kwh)	▲64,562 (kwh)
				ガス(m ³)	99,386 (m ³)	95,682 (m ³)	▲3,704 (m ³)
				重油(ℓ)	430 (ℓ)	490 (ℓ)	60 (ℓ)
2.分別・リサイクル推進 による廃棄物排出量削減	3.223 (g)	1.350 (g)	clear! ▲1.873 (g)	一般廃棄物 排出量(t)	0.9(t)	0.5(t)	▲0.4(t)
				リサイクル量 (t)	0(t)	0(t)	0(t)
3.節水による総排水量 削減	23.81 (m ³)	23.44 (m ³)	clear! ▲0.37 (m ³)	排水量(m ³)	9,075 (m ³)	8,741 (m ³)	▲334 (m ³)
4.コピー用紙使用量の 削減	0.525 (枚)	0.420 (枚)	clear! ▲0.105 (枚)	A4用紙 使用量(kg)	696 (kg)	624 (kg)	▲72 (kg)
5.上記項目の 全スタッフ・お客様への 啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を年3回以上、お客様への啓発を目標として継続中。 スタッフへの教育については実施済み。 お客様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動を呼びかけております。						
6.エコ検定合格(受験) による環境意識の向上 (2011年4月-2012年3月)	受験日	2011年4月-2012年3月 目標合格者数		2011年4月-2012年3月 受験者数		2011年4月-2012年3月 合格者数	
	2011.07	2名		3名		3名	
	2011.12	2名		2名		2名	
	合計	4名		5名		5名	

※各施設の目標数値は、過去3年の同期の実績値平均を基に設定しております。

※施設の稼働状況による変動が大きい為、排出量はすべてお客様1人あたりで算出しております。

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407kg-CO₂/kw(四国電力)

【活動実績及びその評価】

指定管理者としての運営3年目であり、各業務及び設備の実態を把握しながらの管理運営となっておりますが、ご協力会社様との協力もあり順調です。エコ活動の実績やケーススタディも、今後さらに充実させるべく取り組んでいます。これまで実施してきた具体的な事例としては以下のとおりです。

《省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について》

- ・ブランケットの貸し出しを開始しました。エアコンを使用する夏と冬に多く利用が見られました。
- ・5月～10月の間、全スタッフの制服をクールビズに変更しました。(ノージャケット、ノーネクタイ)
- ・1階ロビーを中心に照明をLEDに随時交換しています。
- ・トレーニング室、更衣室のボイラーの設定温度の変更をしました。(通年42度だったが、夏場39度、冬場40度)
- ・客室の照明や空調の消し忘れ防止の為、チェックアウト後の部屋へ行き点検をしています。
- ・レストラン北側壁に、アサガオのグリーンカーテンを実施しました。



ひとめで分別できるよう、文字だけではなくイラストを入れました。

5-3 高松テルサ

《コピー用紙使用量の削減について》

- ・プレビューで確認後の印刷を指示しました。
- ・紙媒体から電子掲示板での回覧へ移行しつつあります。

《全スタッフ・お客様への啓発について》

- ・スタッフ全員がeco-peopleを目指し、ECO検定の受験サポートをしています。
- ※eco-peopleとは・・・
環境社会検定(エコ検定)合格者の名称のこと。

《その他》

- ・これまでダンボールが燃えるゴミとして処分されることがあったので、新たに「ダンボール置き場」を設置しました。
- ・ペットボトルキャップの回収場所を増やしました。
(前年:3,664個 //今年度 :3,496個)

【次年度の取組内容について】

- ・ホール、会議室、客室等の電気使用等を調整している中央監視室とのミーティングの機会を多く持ち、連携することで、より効果的に省エネルギー化の実現に取り組めます。
- ・照明の見直しをします。これまで、特に見直しをしていなかった2・3・4階の照明について、不要箇所を洗い出し照明器具の設置箇所を削減します。

『それぞれの取り組みの効果は、小さいかもしれませんが、全館通年365日で継続的に実践することで、確実に、環境負荷の低減を実現できるものと確信しております。』



他のゴミに混ざらないように
柵を設置しました。



ペットボトルキャップの回収場所を
2・3階に1カ所増やしました。



5-4 クアパーク津田・クアタラソバぬき津田

【運用期間2011年4月～2012年3月】

環境目標項目	2011年4月～2012年3月 実績値評価 (原単位:お客様1人あたり)			昨年度との使用量比較			
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③排出量 (②-①)	④2010年度 (4月～3月)	⑤2011年度 (4月～3月)	⑥使用量 (⑤-④)	
1.省エネルギー化推進 によるCO2排出量削減	12.00 (kg-CO ₂)	8.77 (kg-CO ₂)	clear! ▲3.23 (kg-CO ₂)	電気使用量 (kwh)	1,228,688 (kwh)	1,163,681 (kwh)	▲65,007 (kwh)
				ガス(kg)	13,915 (kg)	62,164 (kg)	48,249 (kg)
				重油(ℓ)	189,850(ℓ)	123,890(ℓ)	▲65,960(ℓ)
				軽油(ℓ)	2,005(ℓ)	2,398(ℓ)	393(ℓ)
2.分別・リサイクル推進 による廃棄物排出量削減	0.27 (kg)	0.16 (kg)	clear! ▲0.11 (kg)	一般廃棄物 排出量(t)	18.35(t)	17.67(t)	▲0.68(t)
				リサイクル量 (t)	8.60(t)	4.66(t)	▲3.94(t)
3.節水による総排水量 削減	247.3(ℓ)	394.2(ℓ)	146.9(ℓ)	排水量(m ³)	35,760 (m ³)	45,072 (m ³)	9,312 (m ³)
4.コピー用紙使用量の 削減	1.10 (枚)	0.46 (枚)	clear! ▲0.64 (枚)	A4用紙 使用量(kg)	270 (kg)	212 (kg)	▲58 (kg)
5.上記項目の 全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を年3回以上、お客様への啓発を目標として継続中。 スタッフへの教育については実施済み。 お客様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動を呼びかけております。						
6.エコ検定合格(受験) による環境意識の向上 (2011年4月-2012年3月)	受験日	2011年4月-2012年3月 目標合格者数		2011年4月-2012年3月 受験者数		2011年4月-2012年3月 合格者数	
	2011.07	1名		0名		0名	
	2011.12	1名		1名		1名	
	合計	2名		1名		1名	

※基準値:2009年1月～12月までのお客様1人当たりの数

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407kg-CO₂/KW(四国電力)

【エコ活動実績及びその評価】

今期は、『総排水量削減』項目を除き、すべての項目で目標達成をすることができました。日々の省エネ活動の成果が現れたのだと自負いたしております。

ただ、『排水量削減』については大きく目標を上回ってしまいました。原因としては、昨年度把握できていなかった井水・海水の使用量を、今年度から総排水量の中に含めました。その為、総排水量の増加につながったと分析いたしております。来期は再度目標数値を見直し、実情にあった目標設定をする予定です。

新たに今年度から、プロパンガス使用量の把握を始めました。これは、12月よりこれまで使用していた燃料を、重油からCO₂排出係数がより小さいプロパンガスに変更した為です。まだ、データ収集の段階ではありますが、更にCO₂排出の減量につながると期待しております。

《1.省エネルギー化推進によるCO2排出削減 について》

・原発事故によって省エネモードが高まった為、省エネ実験デーとして9月・10月の月曜日(計6日間)にバーデゾーン内のお風呂を止めて営業しました。

◆実験結果◆

	2010年9月	2011年9月	結果
重油使用量 (1人あたり)	1.769ℓ/1人	1.706ℓ/1人	2010年9月に比べ、 0.063ℓ/1人(約4%)削減できました。
	2.640ℓ/1人	2.400ℓ/1人	2010年9月に比べ、 0.240ℓ/1人(約9%)削減できました。

5-4 クアパーク津田・クアタラソびぬき津田

前頁続き

- ・昨年同様放熱防止のシートかけを継続しております。
- ・ディリーチェックの実施(5項目チェック)に取り組んでいます。
 - ①水道メーターのチェック ②ガスの停止チェック ③エアコン停止チェック
 - ④フロア消灯チェック ⑤朝の屋外清掃



未使用時の放熱防止の為のブルーシート



お風呂の水を抜いて省エネ実験をしました。
(実験期間:9月の2日間・10月の4日間のべ6日間)

《 2. 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》

- ・分別収集の推進に取り組んでおります。今年度も、全館でエコキャップ運動に取り組みました。

エコキャップ回収ボックスに周辺に案内プレートを置き、より多くの来館者に参加を呼び掛けました。回収したエコキャップは、地元貢献として津田中学校へ寄贈しています。

(平成23年度実績:1,600個)



エコキャップ回収ボックス

- ・『来場した子供達にかぶと虫のプレゼントをするイベント』では、シュレッダーで出来た紙くずを容器に入れ、ゴミを少しでも減らす工夫をしました。屋上に生えた雑草掃除では溜まった土は中庭に腐葉土として撒きました。



屋上に生えた雑草も腐葉土として活用。
ごみを増やさず、無駄なく利用しています。



シュレッダーを木屑の代わりとして利用。
人気のカブトムシ君。

《 3. 節水による総排出量の削減について 》

- ・上水、井水、海水の使用量データをとりました。(上水135L/人、井水313L/人、海水30L/人)引き続きデータをとり、年度ごとに比較できるようにしていきます。

4-4 クアパーク津田・クアタラソさぬき津田

◀ 前頁続き

《 4. コピー用紙削減について 》

- ・ミスコピーの削減と、過剰なコピーをしないよう、必要コピー枚数の確認をしてからコピーをするように努めて来ました。また、ミスコピーを防止する為、『使用後は設定をクリアしてから使用する』注意書きをコピー機に貼り、スタッフへ周知しています。
- ・12月よりクアタラソのコピー枚数が増えておりますが、これはプリンターの入れ替えによりコピー機とパソコンプリンターとの一体型機種に変更した為です。今後もペーパーレス化の推進に更なる活動を継続してまいります。

《 5. 上記項目の従業員・ご利用者への啓発 》

- ・従業員については、朝礼・社内掲示を通し意識の向上に努めて参りました。また、お客様に対しては、各所に掲示を実施、省エネ、節水、リサイクルの呼びかけを実施しております。

【 次年度の取組内容について 】

今年度より、井水・海水の使用量について、把握することができました。データをもとに、次年度から無駄のない使用を心がけたいと思います。

今年度も2011年度と同様に行なう予定ですが、一人一人の行動が大切であると思いますので、定期的なミーティング・啓発掲示により意識を高めたいと考えております。

社員を筆頭にパートさんにもエコ活動の浸透を広めてまいります。



クアタラソさぬき津田 外観



クアパーク津田 外観

5-5 津田の松原サービスエリア

【運用期間 2011年4月～2012年3月】

環境目標項目	2011年4月～2012年3月 実績値評価			昨年度との使用量比較			
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③排出量 (②-①)		④2010年度	⑤2011年度	⑥削減量 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 によるCO2排出量削減	1.00 (kg-CO2)	1.17 (kg-CO2)	0.17 (kg-CO2)	電気使用量 (kwh)	1,382,228.5 (kwh)	1,371,473.0 (kwh)	▲10,755.5 (kwh)
				ガス(kg)	56,941.56 (kg)	52,524.00 (kg)	▲4,417.56 (kg)
				ガソリン(ℓ)	—	4,984(ℓ)	—
2.分別・リサイクル推進 による廃棄物排出量削減	0.049 (kg)	0.079 (kg)	0.03 (kg)	排出量	38.66(t)	46.39(t)	7.73(t)
				リサイクル量 (t)	8.78(t)	46.883(t)	38.103(t)
3.節水による総排水量 削減	22.54(ℓ)	23.22(ℓ)	1.68(ℓ)	排水量(m ³)	15,497.5 (m ³)	13,607.9 (m ³)	▲1,889.6 (m ³)
4.コピー用紙使用量の 削減	0.095(枚)	0.112(枚)	0.017(枚)	A4用紙 使用量(枚)	71,011(枚)	65,914(枚)	▲5,097(枚)
5.上記項目の 従業員・ご利用者様への 啓発	従業員及び委託業者への教育を年3回以上、ご利用者様への啓発を目標として継続中。 従業員への教育については実施済み。 ご利用者様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動呼びかけております。						
6.エコ検定合格(受検) による環境意識の向上 (2011年4月～2012年3月)	受験日	2011年4月～2012年3月 目標合格者数		2011年4月～2012年3月 受験者数		2011年4月～2012年3月 合格者数	
	2011.07	1名		0名		0名	
	2011.12	1名		1名		1名	
	合計	2名		1名		1名	

※ 基準値: 2009年1月～9月までの利用者一人当たりの数

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数: 0.378 kg-CO₂/KW(四国電力)

【環境活動実績及びその評価】

今期の活動成果は全て未達となっており、その要因として考えられることを下記に挙げます。

<1.CO₂排出量削減について>

建物自体の密閉度が不足しており、外気が直接店内入り込むことにより、繁忙期は指定温度を維持できなかった。倉庫等の照明器具消灯も、まだ認識不足のところがああり、更なる、啓発活動を重点にエコへの取組意識を持つように呼びかけます。

<2.廃棄物排出量削減について>

割り箸リサイクル・エコキャップ回収に関しては、お客様の認知度もあり、順調に行っております。
製品(うどん、ごはん等)の製造量調整及び、二次加工製品に転用等(うどんの切れ端 焼きうどんパンに使用)による排出量減量に努めて参ります。

<3.総排水削減について>

未達ながら累計としてはほぼ計画通りに推移しており、更なる節水に努めます。

<4.コピー用紙使用量削減について>

無駄コピーを無くすよう、更なる意識改革を行います。津田の松原サービスエリアにとって、「従業員全員への啓発活動」を現時点での最重要課題として捉えて活動しております。当部門の場合、ほとんどがパートさんであり、就業時間もシフト制(平均6時間)によって異なります。全従業員の意識向上を図ることが最優先です。



継続して取組んでいる
『割り箸リサイクル』

5-5 津田の松原サービスエリア

前頁続き

〈4. コピー用紙使用量削減について〉

無駄なコピーを無くすよう、更なる意識改革を行います。

津田の松原サービスエリアにとって、「スタッフ全員への啓発活動」を現時点での最重要課題として捉えて活動しております。当部門の場合、ほとんどがパートタイム社員であり、就業時間もシフト制(平均6時間)によって異なります。全スタッフの意識向上を図ることが最優先です。

【 具体的取り組み内容について 】

① 省エネ対策

上りうどんスナックコーナー客席照明 蛍光灯(32本)をLEDに変更いたしました。

施工日:平成24年3月29日

② 分別リサイクル

割り箸リサイクル活動及びエコキャップ回収活動への取組みを継続しています。

(1) 本年度、割り箸(送付量) 2,006 kg

(割り箸リサイクルによるボックスティッシュ換算 3009.6 箱分)

(2) 本年度、エコキャップ回収量 155.2kg

(エコキャップ回収によるポリオワクチン換算 77.6 本)

(3) 二次加工製品への転用(うどん切れ端 焼きうどんパンに使用)

※本年度転用量 100 kg

尚、回収した結果は、店内に掲示致しました。

③ 節水対策

漏れがないか、日々メーター確認。

現場での啓発表示及び、毎朝の蛇口確認。

④ コピーの使用枚数

※コピー機での使用枚数での換算を来期では、使用枚数に変更致します。

【 次年度の取組内容について 】

①平成24年6月より、スナックコーナーの生ゴミに関して、食品リサイクルを開始する予定です。

※施工業者 (株)塵芥センター

廃棄食品再生肥料化

(集荷の状態管理・量・周期に関して、打ち合わせ終了後、開始。)

②『私たちに出来ること・具体的な取り組み』に基づいて順次活動し、活動結果を記録・検証致します。



5-6 高松国際ホテル

[運用期間 2011年10月～2012年3月]

環境目標項目	2011年10月～2012年3月 実績値評価 (原単位:売上高千円当り)			昨年度との使用量比較			
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③排出量 (②-①)	④2010年度 (4月～3月)	⑤2011年度 (4月～3月)	⑥使用量 (⑤-④)	
1.省エネルギー化推進 によるCO ₂ 排出量削減	1.41 (kg-CO ₂)	1.24 (kg-CO ₂)	clear ▲0.17 (kg-CO ₂)	電気使用量 (kwh)	2,665,810 (kwh)	2,441,580 (kwh)	▲224,230 (kwh)
				ガス(m ³)	102,165 (m ³)	110,119 (m ³)	7,954 (m ³)
2.分別・リサイクル推進 による廃棄物排出量削減	—	44.63 (g)	—	一般廃棄物 排出量(t)	—	17.98(t)	—
				リサイクル量 (t)	—	7.15(t)	—
3.節水による総排水量 削減	35.35(ℓ)	37.17(ℓ)	1.82(ℓ)	排水量(m ³)	34,131 (m ³)	32,250 (m ³)	▲1,881 (m ³)
4.コピー用紙使用量の 削減	—	2.1(g)	—	A4用紙 使用量(kg)	—	986(kg)	—
5.上記項目の 全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を年3回以上、お客様への啓発を目標として継続中。 スタッフへの教育については実施済み。 お客様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動を呼びかけております。						
6.エコ検定合格(受検) による環境意識の向上 (2011年4月-2012年3月)	受験日	2011年10月-2012年3月 目標合格者数		2011年4月-2012年3月 受験者数		2011年4月-2012年3月 合格者数	
	2011.12	2名		2名		1名	
	合計	2名		2名		1名	

※基準値:2011年4月～2011年9月までの売上高千円当たりの数値

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407 kg-CO₂/KW(四国電力)

※『2.廃棄物排出量削減』と『4.コピー用紙削減』項目における数値について、現在データ採集中の為目標数値を設定しておりません。

【エコ活動実績と評価】

<1.省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について>

- ロビー・共用廊下のダウンライトの一部をLEDに変更して、省エネルギー化に取り組んでいます。今後も随時LED照明に変更していく予定です。
- 宿泊されたお客様のチェックアウト後、客室のエアコン(フロントで集中管理)をOFFにしています。
- ロビーのシャンデリアを24時から6時30分まで消灯しています。

<2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について>

[取り組み内容]

- ①シュレッダー・コピー用紙の廃棄を古紙専門業者に依頼しリサイクルしています。
- ②廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品業者様に商品持ち込み時のダンボールを回収依頼し、ご協力いただいています。
- ③プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)をしています。
- ④ごみの分別を徹底しています。

[分別種類:①不燃物②可燃物(リサイクル)③可燃物(単純焼却)④生ごみ(リサイクル)
⑤生ごみ(単純焼却)⑥ダンボール⑦古紙⑧コピー用紙のリサイクル⑨廃プラスチック⑩シュレッダー]

5-6 高松国際ホテル

◀ 前頁続き

◆洋食・和食調理部◆

～食品リサイクルに取り組んでいます～

①食材に無駄が出ない様、在庫管理を徹底し商品発注をしています。

(排出量:27.14t リサイクル量:12.53t リサイクル率:46.15%)

※厨芥ごみは、飼料へとリサイクルされています。

②食材のラップ保存時に、ラップの切り方を工夫し無駄をなくすようにしています。

③食材に余分が出た場合、まかない食として調理し廃棄物を削減できるよう工夫しています。

④産業廃棄物(廃食用油)のリサイクルに取り組んでいます。

(排出量:2.15t リサイクル量:2.15t リサイクル率100%)※廃食用油は、肥料へとリサイクルされています。

<3. 節水による総排水量削減について>

・各蛇口に節水シールを掲示し、節水意識の高揚を促しています。

<4. コピー用紙使用量の削減について>

・社内メールの活用及びミスプリント削減を推進することにより、コピー使用量の削減に努めています。

・コピー機周辺に、ミスコピーを防ぐ啓発ステッカーを貼り、周知をしています。



節水を呼びかけるステッカーを掲示。

【 次年度の取組内容について 】

・宴会場の『照明は開場5分前』、『空調スイッチは開場の30分前』にONとし、お客様にご迷惑をかけないよう、宴会場の使用エネルギーの削減を図っていきます。

・宴会場で発生するごみを分別(生ごみ・以外の可燃物)することにより、食品リサイクル量を増やすことで環境への負荷低減に努めていきます。

・新宴会棟の空調設備入れ替えを、平成24年8月～9月に実施予定です。省エネタイプの機器に変更することで、CO₂排出量の削減を図ります。



ミスコピー防止のステッカー



安全で快適な環境の
提供をいたします。



5-7 チサン イン高松

【運用期間 2011年10月～2012年3月】

環境目標項目	2011年10月～2012年3月 実績値評価 (原単位:お客様1人あたり)			昨年度との使用量比較			
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③排出量 (②-①)	④2010年度 (4月～3月)	⑤2011年度 (4月～3月)	⑥使用量 (⑤-④)	
1.省エネルギー化推進 によるCO2排出量削減	10.58 (kg-CO ₂)	9.11 (kg-CO ₂)	clear ▲1.47 (kg-CO ₂)	電気使用量 (kwh)	511,741 (kwh)	455,094 (kwh)	▲56,647 (kwh)
				ガス(m ³)	35,941(m ³)	48,534(m ³)	12,593(m ³)
				重油(ℓ)	31,800(ℓ)	11,740(ℓ)	▲20,060(ℓ)
2.分別・リサイクル推進 による廃棄物排出量削減	—	0.296(kg)	—	一般廃棄物 排出量(t)	—	5.20(t)	—
				リサイクル量 (t)	—	0.15(t)	—
3.節水による総排水量 削減	345.65 (ℓ)	412.00 (ℓ)	66.35 (ℓ)	排水量(m ³)	12,908(m ³)	12,471(m ³)	▲437(m ³)
4.コピー用紙使用量の 削減	—	3.39枚 (A4用紙)	—	A4用紙 使用量(kg)	—	414(kg)	—
5.上記項目の 全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を年3回以上、お客様への啓発を目標として継続中。 スタッフへの教育については実施済み。 お客様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動を呼びかけております。						
6.エコ検定合格(受検) による環境意識の向上 (2011年4月-2012年3月)	受験日	2011年10月-2012年3月 目標合格者数		2011年4月-2012年3月 受験者数		2011年4月-2012年3月 合格者数	
	2011.12	2名		0名		0名	
	合計	2名		0名		0名	

※ 基準値:2010年4月～2011年9月までのお客様1人当たりの数

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407 kg-CO₂/KW(四国電力)

※ 『2. 廃棄物排出量削減』と『4. コピー用紙削減』項目における数値について、現在データ採集中の為数値を入力していません。

【エコ活動実績と評価】

<1. 省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について>

・排出量削減における大きな要因

- ①低稼働率の際での使用しない客室のブレーカーダウン(855室/半年)を実施しました。
また、使用していないフロアでは、フロア全体のブレーカーダウンを実施し、節電に取り組みました。
- ②協力業者様にお願いし、バスルーム以外の照明及び空調カットをして部屋の清掃・ベッドメイクを実施していただくようにしました。
- ③ロビーのシャンデリア照明をLEDへと変更しました。
- ④クロークや事務所内の不要な電球を取り外し、無駄な電気の使用を控えました。
- ⑤給油用ボイラー並びに空調器の重油からガスへの転換をいたしました。
重油供給を継続していた場合の使用料を仮定すると、温室効果ガス排出量約23,000(kg-CO₂)の削減をすることができました。(温室効果ガス排出量算定方法ガイドラインに基づいた算定数字を採用)
- ⑥社内掲示物による、スタッフの意識向上に取り組みました。



不要な電気をカット!

意識向上の徹底を図る為に全スタッフのロッカー扉に節電を呼びかけるステッカーを貼りました。

5-7 チサン イン高松

前頁続き

<2. 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について>

- ・廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、シュレッダーごみをご協力会社様様に回収していただいています。
- ・発注に関して、エコ商品(グリーン購入対象商品)を基本にし、価格を検討しながら可能な範囲で商品購入に取り組んでいます。

例)カートリッジトナー

過去:使用済みのトナーは不燃ごみと一緒に廃棄

現在:グリーン商品で購入し、使用済みトナーをまとめて保管し、業者が回収。リサイクルへ。

13個実績(対象期間:平成23年10月～平成24年3月)

- ・フロント事務所内スタッフのみ(8名)ではあるが、EA21参加意識の向上を目的とし、エコキャップ回収運動への取り組みを実施中。

実績:平成24年1月～3月 384個

<3. 節水による総排水量削減について>

- ・社内掲示物により、水栓の閉め忘れ防止の周知徹底を図った。
- ・毎週1回、水道メーターの確認をすることで、漏水をしていないかチェックをするようにしました。

<4. コピー用紙使用量の削減について>

- ・フロント帳票に関して、業務効率化のアップとコピー用紙使用量削減の為に、必要な帳票を絞りプリントアウトしている。

※全24項目中13項目抽出カット

1日当たり

約30枚/月900枚 5,400枚削減 金額2,700円削減することができました。

- ・社内掲示物による、ミスコピー削減の周知をしました。

【 次年度の取組内容について 】

- ・社内においては水道光熱費削減を図るために、社内掲示物等を活用と実績数字の掲示等による「見える化」による実施検証をして、更なる社員の意識向上を図っていきます。
- ・レストランや客室からの発生廃棄物を更に分別することにより、リサイクル(再利用・再生利用可能物質)量を増やすことで廃棄物(ごみ)を減らし、環境への負荷低減に努めていきます。
- ・客室シャワーへの節水コマの取り付けによる水道使用量の削減に取り組めます。
- ・環境への取組について、目に留まりやすいフロントカウンターやエレベーター内に環境方針を掲示し、お客さまにご協力・ご理解をいただけるようPRいたします。



お客様にくつろぎの
ひとときをご提供いたします。

5-8 ロイヤルパークホテル高松

[運用期間 2011年10月～2012年3月]

環境目標項目	2011年10月～2012年3月 実績値評価 (原単位:売上高1,000円あたり)			昨年度との使用量比較			
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③排出量 (②-①)		④2010年度 (4月～3月)	⑤2011年度 (4月～3月)	⑥使用量 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進 によるCO ₂ 排出量削減	1.49 (kg-CO ₂)	1.18 (kg-CO ₂)	clear ▲ 0.31 (kg-CO ₂)	電気使用量 (kwh)	927,816 (kwh)	893,209 (kwh)	▲34,607 (kwh)
				ガス(m ³)	93,038 (m ³)	97,058 (m ³)	4,020 (m ³)
2.分別・リサイクル推進 による廃棄物排出量削減	—	0.03 (kg)	—	一般廃棄物 排出量(t)	—	※① 5.60(t)	—
				リサイクル量 (t)	—	※② 0.43(t)	—
3.節水による総排水量 削減	30.84 (ℓ)	35.19 (ℓ)	4.35 (ℓ)	排水量(m ³)	12,158 (m ³)	13,738 (m ³)	1,580 (m ³)
4.コピー用紙使用量の 削減	—	0.248(枚)	—	A4用紙 使用量(kg)	—	457(kg)	—
5.上記項目の 全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を年3回以上、お客様への啓発を目標として継続中。 全スタッフへの教育については実施済み。 お客様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動を呼びかけております。						
6.エコ検定合格(受験) による環境意識の向上 (2011年4月-2012年3月)	受験日	2011年10月-2012年3月 目標合格者数		2011年4月-2012年3月 受験者数		2011年4月-2012年3月 合格者数	
	2011.12	2名		0名		0名	
	合計	2名		0名		0名	

※ 基準値:2010年4月～2011年9月までの売上高1,000円当たり

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407 kg-CO₂/KW(四国電力)

※ 『2.廃棄物排出量削減』と『4.コピー用紙削減』項目における数値について、現在データ採集中の為数値を入力しておりません。

※ ①のデータ採用期間は平成23年4月～平成24年3月

※ ②のデータ採用期間は、平成23年11月～平成24年3月の4ヶ月間です。

【エコ活動実績と評価】

<1. 省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について>

・無駄な電気使用量を削減するため、節電を促す掲示物を照明スイッチ周辺に掲示しました。※1

特に、夜間の消灯を積極的に行い、省エネルギーを心がけました。

・フロントロビーのシャンデリアの電球をLED電球に変更しました。

・清掃時における空調カット及び、必要最小限の照明の使用を徹底しました。

<2. 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について>

・廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品・ご協力会社様に持ち帰り可能な容器・ダンボールについては各自で持ち帰るよう、ご協力をいただいております。

・あなぶきグループのエコキャップ運動へ参加し、定期的にエコキャップの回収に努めています。
(2011.10月～2012.3月実績 2,740個)

【和食調理部】

・食材に無駄が出ないように在庫の管理を行い効率の良い発注を心がけています。

・調理場にいる人数に応じて必要最低限の照明を使用しています。

・廃食用油のリサイクルへの取り組み(2011年10月～2012年3月実績 0.66t)

天ぷら油の再利用を100%行っております。

・食材が残った場合には、まかない食として使用し、出来るだけ廃棄物が出ないようにしています。



※1節電を促す為に時間ごとに、消灯箇所を決め分かりやすくシールを貼って掲示しています。

5-8 ロイヤルパークホテル高松

◀ 前頁続き

<3. 節水による総排水量削減について>

- ・館内の定期巡回点検時に、お客様用共用トイレ等点検を実施し、無駄な吐水等無きように対応いたしました。

<4. コピー用紙使用量の削減について>

- ・館内各コピー機にミスコピー防止のPOPを貼り紙の削減に務めました。※2

【 次年度の取組内容について 】

節水をしたり、無駄な電気や紙を使わないという自分達の業務の中での無駄を少しでも減らす活動を身近なところから取り組みます。

- ・宴会場の空調機・照明を必要のないときにはOFFにし、省エネを心がけて参ります。
- ・環境への取組について、目に留まりやすいフロントカウンターに環境方針を掲示し、お客さまにご理解・ご協力をいただけるようにPR致します。



※2 無駄なコピー用紙を削減するためにステッカーを貼り喚起しています。

あたたかなサービスで
おもてなし致します。



5-9 琴平パークホテル

[運用期間 2011年10月～2012年3月]

環境目標項目	2011年10月～2012年3月 実績値評価 (原単位:お客様1人あたり)			昨年度との使用量比較			
	①排出量 (目標)	②排出量 (結果)	③排出量 (②-①)	④2010年度 (4月～3月)	⑤2011年度 (4月～3月)	⑥使用量 (⑤-④)	
1.省エネルギー化推進 によるCO ₂ 排出量削減	7.77 (kg-CO ₂)	9.72 (kg-CO ₂)	clear ▲1.95 (kg-CO ₂)	電気使用量 (kwh)	412,626 (kwh)	358,930 (kwh)	▲53,696
				ガス(m ³)	29,762(m ³)	32,895(m ³)	3,133(m ³)
2.分別・リサイクル推進 による廃棄物排出量削減	—	0.13(kg)	—	一般廃棄物 排出量(t)	—	1.5(t)	—
				リサイクル量 (t)	—	0.8(t)	—
3.節水による総排水量 削減	300.82 (ℓ)	415.89 (ℓ)	115.07 (ℓ)	排水量(m ³)	8,890 (m ³)	8,839 (m ³)	▲51 (m ³)
4.コピー用紙使用量の 削減	9.17(g)	6.51(g)	clear ▲2.66(g)	A4用紙 使用量(kg)	315(kg)	154(kg)	▲161(kg)
5.上記項目の 全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を年3回以上、お客様への啓発を目標として継続中。 スタッフへの教育については実施済み。 お客様へは館内随所にて、カード・掲示物等により活動を呼びかけております。						
6.エコ検定合格(受験) による環境意識の向上 (2011年4月-2012年3月)	受験日	2011年10月-2012年3月 目標合格者数		2011年4月-2012年3月 受験者数		2011年4月-2012年3月 合格者数	
	2011.12	2名		2名		2名	
	合計	2名		2名		2名	

※①データ採用期間は、平成23年9月～平成24年3月です。

※ 基準値:2010年4月～2011年9月までのお客様1人当たりの数

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407 kg-CO₂/KW(四国電力)

※『2. 廃棄物排出量削減』と『4. コピー用紙削減』項目における数値について、現在データ採集中の為数値を入力しておりません。

【エコ活動実績と評価】

<1. 省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減について>

- ・チェックシートを作成し、チェックアウト後の客室空調や照明を消すようにしました。
漏れなくチェック出来るよう、チェックシートを作成し取り組みました。
(節電取組実績 : 5,168室/6ヶ月間)
- ・ホテル全客室(88室)のエアコンフィルターを、3か月に1度の周期で定期的に清掃を行い、目詰まりによる過剰な電気使用を防いでいます。
又、8階展望浴場の換気扇、フィルターの清掃は月に1度、清掃を実施しています。
- ・2011年5月13日より、客室内冷蔵庫の電源を常時切るように致しました。
お客様がご利用の際に電源を入れていただくようお願いする案内文を張り、不使用時の無駄な電力を省いています。【写真①参照】
- ・事務所内の照明について、不要な箇所の電球を取り外しています。また、昼間の利用を控え、必要時以外は全て照明を消しています。【写真②参照】
- ・フロントの間接照明を21:00、風除室の照明を22:30頃に消灯し、また駐車場案内の看板、軒下のダウンライト、出入口の照明を夜の点灯時間を季節に応じて変更しています。
- ・展望浴場の浴槽温度を季節ごとに調整。冬41℃・夏39度 過剰なガスの供給を防いでいます。

5-9 琴平パークホテル

◀ 前頁続き



①【客室 88室すべての冷蔵庫】



②昼間の消灯を促す掲示

<2. 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について>

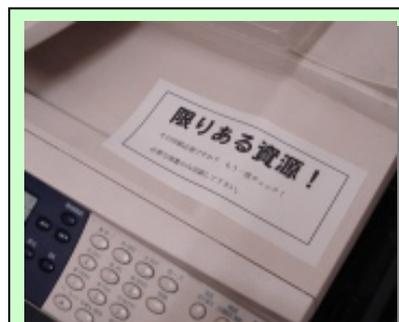
- ・エコキャップ運動への取り組みを実施。
- ・不燃物ゴミに関しては引き取り業者にリサイクルゴミとして回収してもらっています。

<3. 節水による総排水量削減について>

- ・週に1度、水道メーターのチェックを行い漏水がないか確認しています。

<4. コピー用紙使用量の削減について>

- ・ミスプリントをださないように、貼り紙による啓発をおこなっています。(写真③参照)



③ミスプリント防止を呼びかける掲示

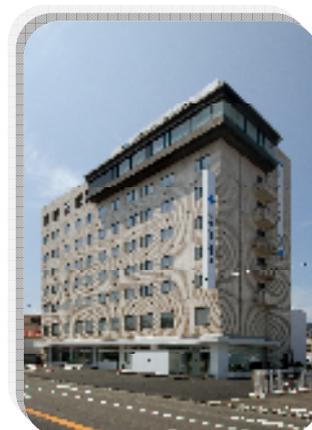
<その他>

- ・エコ活動の一環として2011年12月18日の環境社会検定(エコ検定)に受験いたしました。(2名受験し2名合格)

【 次年度の取組内容について 】

- ・館内エレベーターに省エネへの取組についての貼り紙をし、
- ・お客様にもご理解・ご協力をいただけるよう、周知をして行く予定です。
- ・ロビー等の照明については随時LEDに変更する予定です。

地域社会に
愛されるホテルを
目指します。



5. 今後のエコ活動計画（全施設共通）

◆ 全社環境目標 ◆

環境目標項目		平成 23 年度実績 (基準年度)	平成 24 年度	平成 25 年度
削減率			基準年度比 1.5 % 減	基準年度比 3.0 % 減
1.省エネルギー化推進によるCO2 排出量削減	CO ₂ 排出量	6,912,514 (kg-CO ₂)	6,808,826 (kg-CO ₂)	6,705,138 (kg-CO ₂)
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	一般事業系 排出量(t)	109.4(t)	107.76(t)	106.12(t)
3.食品リサイクル率の向上	食品 排出量(t)	80.2(t)	79.0(t)	77.8(t)
		リサイクル量(t)	40.2(t)	40.4(t)
	リサイクル率 (リサイクル法による)	50.1%	51.1%	52.1%
4.節水による総排水量削減	排水量(m ³)	153,054.0(m ³)	150,758.2(m ³)	148,462.4(m ³)
5.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発	全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施。 お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施。			
6.エコ検定合格（受検）による環境意識の向上		平成 23 年度末	平成 24 年度末	平成 25 年度末
	合格者数	45 名	60 名	75 名
7.グリーン購入の実施	LED 電球の使用	白熱灯電球更新時の LED 使用率 80%以上		
	文房具	全購入品目において、エコマーク製品購入割合 75%以上		
	設備機器・厨房機器等	高効率機器の採用 100%		

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407 kg-CO₂/KW(四国電力)

※今後の認証範囲の拡大により、目標値の見直しが見込まれるので、2年間の目標設定とした。

■ 全社環境目標の達成に向けて、展開する主要なエコ活動計画の内容は、以下の通りです。
『環境目標の達成に向けて全力を挙げて取り組みます。』

1. 『省エネルギー化の推進』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 適正空調温度の管理(クールビズ・ウォームビズの励行)
- ② 不要照明・エアコンの適正管理(ON-OFF 管理と確認の徹底)

2. 『廃棄物分別・リサイクル』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 紙ゴミの分別(リサイクルの推進)
- ② 缶・ビン・ペットボトルの分別・リサイクルの推進
- ③ ミスコピーの廃絶(印刷前の倍率・サイズ等の再確認)



高松国際ホテル
(ごみの分別に取り組んでいるごみ置き場)

3. 『食品リサイクル』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 食品材料の有効利用により発生抑制をします。
- ② 食品廃棄物の分別を徹底し、再生利用をします。
- ③ 食品廃棄物の脱水、乾燥等により減量をします。

4. 『節水』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 適正水量調整(節水こま等利用)による使用水量の削減
- ② 水使用場所での節水の呼び掛け徹底



ホテル事業部
(環境リーダーへのEA21導入講習)

5. 『環境配慮啓発活動』に対して、「私たちは、こうします。」

- ① 全スタッフへの周知徹底(ミーティング、掲示等の有効利用)
- ② 定期的な実績報告による取組意識の維持向上

6. 『エコ検定合格(受検)』、「私たちは、こうします。」

全スタッフのエコ意識を高めるため、計画的に受検を奨励し、環境問題への意識向上を図ると共にエコピープルを増やします。

7. 『グリーン購入の実施』、「私たちは、こうします。」

エコマーク製品以外の品目については、以下の項目を検討し、商品を購入します。

- ① 環境や人の健康に被害を与えるような物質の使用及び放出が削減されていること。
- ② 資源やエネルギーの消費が少ないこと。
- ③ 資源を持続可能な方法で採取し、有効利用していること。
- ④ 再生された素材や再使用された部品を多く利用していること。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の活動に関係する環境関連法規の遵守には日頃から注意を払っており、違反、訴訟等は有りません。

7. 代表者による全体評価と見直しについて

①環境方針の見直しについて

『2009年度版 EA21食品事業者向けガイドライン』に対応した新規の環境方針を、平成24年5月1日より採用する。

②マネジメントレビュー

平成23年度エコアクション21運用状況報告会(平成24年4月26日)を受けての指示事項

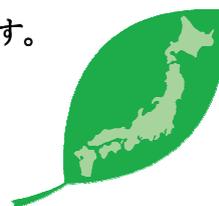
1. 食品関連事業者向けガイドラインに適合するように環境経営システムマニュアルの見直しを速やかに実施すること。
2. EA21の運用拡大については平成25年の中間審査に合わせて認証登録を目標とする。
3. 全社の運用状況について
 - ①EA21の運用が定常化しつつ有るが、まだ浸透しているとは言い難い。日常的活動となるように啓発活動に努める事。
 - ②お客様へのサービスレベルの向上を常に念頭に置き、EA21の活動を推進すること。



平成23年度運用状況報告会議の様子
(H24.4.26)

平成23年度のエコ活動レポートは以上です。

当社は、今後とも全社を挙げて、環境に配慮した活動に取り組み、継続的に改善してまいりたい決意です。そして、この活動を自社のみでとどめるのではなく、広くお客様、地域社会の皆様のご理解・ご協力を得て、『持続可能な社会の実現』に向けて、貢献させていただけるように努めます。地球環境の悪化がこれ以上進まないように憂慮され、常に問題意識をお持ちになる皆様と共に、次の世代に、よりよい地球環境を引き継げるよう、日々の活動を継続してまいります。





発行日:平成 24 年 6 月 1 日

改定日:平成 24 年 7 月 30 日

※ 今後随時、エコ活動レポートは当社の公式ホームページでも公開いたします。下記 URL にてご覧ください。
<http://www.anabuki-enter.jp/>